

---

# ブラックぴいすけ、ヨーグルトを食うの巻！

ごはんライス

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ブラックぴいすけ、ヨーグルトを食うの巻！

### 【Nコード】

N9066H

### 【作者名】

ごほんライス

### 【あらすじ】

ブラックぴいすけにはヨーグルトを一日一個食うという大目標がある！！！！

ブラックぴいすけは冷蔵庫を開けた。

「むひひひ。ヨーグ。ヨーグ」

ブラックぴいすけには一日一個ヨーグルトを食つという目標があるのだ。

「昨日は食べられなかったからな。食欲がなくて。今日は二個食べよう」

そう。昨日、ブラックぴいすけは好きな子にふられたのだ。それで食欲がなかったのだ。

「へっへ。旨そうな白さ。食べちゃうぞ。食べちゃうぞ。うっひっひっひ」

ヨーグルトは叫んだ。

「いやっ食べないで！」

「ひっ」

ブラックぴいすけは飛び上がった。

「ええええええ。ヨーグがしゃべった」

「そりゃしゃべるわよ。ヨーグルトだって」

ブラックぴいすけは困った。

「そうか残念。じゃあ、こっちのヨーグを食べよう」

ブラックぴいすけがもう一個に手を伸ばした。

「よしおさん！」

「え」

「よしおさんを食べないで！あたしの恋人なの！」

「ええええええええええ」

「だから、お願い！食べないで！」

二つのヨーグルトが抱き合っている。

「とほほほ。困ったなア」

しかし、ブラックぴいすけは一日一個食わなければならぬ。

「どつちかを食べるよ」

「そんなア」

二人のヨーグルトはわアわア泣いた。

「よしおさあん。よしおさあん」

「節子ちゃあん。節子ちゃあん」

泣きたいのはこつちだぜ、という気分のブラックぴいすけである。

「でも食べないと。ボクの目標だから」

ヨーグルトは決心したかのように言った。

「わかりました。でも条件があります。あたしたち死ぬなら一緒に死にたいんです」

「死ぬつてこれまた大げさな」

「あたしたちをかき混ぜてから食べてください。お願いします」

「わ、わかつたよう」

ブラックぴいすけはしょうがなく言われるとおりにお碗を持ってきてその中にヨーグルトのよしおと節子を入れてかき混ぜた。

「お。お。お。なにこれ。むっちゃ気持ちいい。お」

「あん。あん。あん。ほんと、気持ちいい。あん」

卑猥な声を出す。

「やかましくつて食べられねえや」

ブラックぴいすけは、絡み合うやらしい二人を前に呆然とした。

「あ。あ。あん。よしおさん。すこい」

「お。おふ。せ、せつちゃんこそ。あふ。たまらん」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9066h/>

---

ブラックぴいすけ、ヨーグルトを食うの巻！

2011年10月9日19時05分発行